

令和元年度南部地域の高校生を対象とした  
「地域への愛着や将来的な定住の意向に関するアンケート」調査結果（速報）

令和2年2月19日  
南部地域活性化局

## 1 調査概要

調査時期	令和元年11月～12月
調査対象校	南部地域に所在する全ての全日制及び定時制の高等学校17校 並びに特別支援学校3校
調査対象者	2年生生徒全員2,628名（全数調査）
有効回答数	2,443名（有効回答率93.0%） うち住所地が南部地域である2,049名について分析

※ 本調査は、平成28年度から実施しています。

## 2 主な調査結果（速報）

地域への愛着は過去2年とほぼ同様の結果となりましたが、将来的な定住の意向では、いずれ地域に戻ってきたいという回答割合が低下しました。

### （1）地域への愛着

【設問】自分の住んでいる地域のこと好きですか。

【回答】「とても好き」36.9%、「どちらかと言えば好き」49.0%、計85.9%  
「あまり好きではない」10.9%、「好きではない」3.0%、計13.9%

≪「自分の住んでいる地域のこと好き」と回答した割合の推移≫

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
83.2%	85.4%	85.4%	85.9%

### （2）将来的な定住の意向

【設問】現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか。

【回答】「卒業後も住み続けたい」21.4%

「学生時代は都会に住みたいが就職時には戻ってきたい」11.9%

「若いうちは都会に住みたいが結婚や子育てを機に戻ってきたい」

11.4%

「若いうちは都会に住みたいが30～50歳代には戻ってきたい」9.2%

「都会に住みたいが定年退職などいつかは戻ってきたい」18.9%

「地域に住み続ける（戻る）つもりはない」24.4%

「無回答」2.8%

72.8%

≪「いずれ地域に戻ってきたい」と回答した割合の推移≫

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
72.7%	74.2%	77.7%	72.8%

- ・ 前年度に最も回答が多かった「卒業後も住み続けたい」が27.0%から21.4%に5.6ポイント低下するとともに「地域に住み続ける（戻る）つもりはない」が19.7%から24.4%と4.7ポイント増加し、最多回答が入れ替わりました。
- ・ 上記の変動要因として、伊勢市、志摩市、鳥羽市、熊野市など生徒数の多い市町の回答結果が大きく影響しています。
- ・ 転出する理由については「希望する就職先、進学先がない」「都会での生活に憧れがある」「生活、交通が不便」と回答した割合が過去3年と比べるといずれも高くなっています。